

第10回・第2期第1回宝塚市協働のまちづくり促進委員会 会議録	
開催日時	平成27年11月2日（月）18:30～20:00
開催場所	宝塚市市役所3階 特別会議室
次 第	1 開会 2 辞令の交付 3 市長挨拶 4 委員及び事務局の紹介 5 議事 (1) 会長、会長代理の選出 (2) 審議経過の説明 (3) 会議の進め方 6 その他 日程調整 7 閉会
出席委員	久委員長、足立委員、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、久米委員、古泉委員、高松委員、田中委員、中山委員、原田委員、丸井委員、溝口委員、山本(洋)委員、横谷委員、大西委員、山本(寛)委員
開催形態	公開（傍聴人0）

1 開会

第10回・第2期第1回宝塚市協働のまちづくり促進委員会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は17人、欠席者は2人であり、宝塚市協働のまちづくり促進委員会規則第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者が0人であることを報告した。

2 辞令の交付

宝塚市長から各委員に委嘱又は任命に係る辞令を交付した。

3 市長挨拶

宝塚市協働のまちづくり促進委員会（第2期）の初回の会議の開催に当たり、宝塚市長が委員各位に挨拶を行った。

4 委員及び事務局の紹介

出席した委員及び事務局が自己紹介を行い、欠席した委員については事務局から紹介した。

5 議事

(1) 会長、会長代理の選出

会長の選出については、委員から事務局が候補者を推薦するよう意見があったので、事務局が久委員を推薦したところ、全委員が承認したので久委員が会長に就任することとなった。

会長代理については、久会長が飯室委員を指名したので同委員が会長代理に就任することとなった。

(2) 審議経過の説明

宝塚市協働のまちづくり促進委員会第1期まとめに沿って、これまでの審議経過を事務局から説明した。

(3) 会議の進め方

会議の進め方について、以下のとおり審議が行われた。

ア 【会長意見】 会議の進め方についても協働で、話し合って決めていきたいと思うが、まずは事務局の提案を聞きたい。

イ 【事務局】 今年度中にマニュアルの完成を目指していただきたい。その上でスケジュールを提案するが、この会議で第1期に引き続き協働の仕組みづくり検討部会と協働のマニュアル策定部会を設置いただき、マニュアル案については2月中に完成させ市長に提案いただき、市内部での検討を経て3月末までに正式な決定を得たいと考えている。また、4月以後は行政職員向けのマニュアルを別途作成していきたいと考えているが、協働のマニュアル策定部会や作業部会に希望する職員を募って参加させ、協働でマニュアルを作成していきたい。

ウ 大筋で理解できたが、今年度中にマニュアルを作成するには残りの数か月で部会と全体会の開催がかなりタイトなスケジュールになると思う。どのように想定しているのか。

エ 【事務局】 本日、2つの部会を設置していただくとして、2月まではマニュアル部会を集中して開催していただきたい。

また、3月末には住民自治組織のあり方に関する調査専門委員から市に調査報告書が提出される予定であるので、その報告書の内容も踏まえて4月以後に協働の仕組みづくり検討部会の審議を進めていただければどうか。

オ 【会長意見】 具体的には月1回のペースで開催するとして、12月と1月に協働のマニュアル策定部会を開催し、2月に全体会を開催してマニュアルについて議論していくことになるだろう。協働の仕組みづくり検討部会はしばらく期間をおいて4月以後に審議を始めることとなるが、調査専門委員の提言を踏まえて審議を深めていけると思う。提案について意見はあるか。(※意見なし。)

特に意見がないようなので、提案されたスケジュールで進める。引き続いて部会の構成員を決定するが、第1期では各委員が希望するいずれか又は両方の部会に所属してもらった。第2期も同様に希望する部会に所属してもらおうと思うが、第1期に引き続いて同じ部会でも構わないし、所属部会を変更してもらっても、追加し

てもらっても構わない。(※挙手により所属部会の希望を確認する。協働の仕組みづくり検討部会には、久会長、足立委員、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、古泉委員、高松委員、中山委員、原田委員、丸井委員、山本委員、横谷委員、大西委員、山本委員が所属し、協働のマニュアル策定部会には、久会長、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、久米委員、高松委員、田中委員、中山委員、溝口委員が所属することとなった。)

ほかに会議の進め方について意見はないか。

カ 第2期の2年間で、協働の指針に掲げている検討事項のうちどれをいつまでに取り組むのか、シナリオをつくってスピード感を持って進めていきたい。積み残している検討事項をどうするのか検討してはどうか。

キ 【会長意見】マニュアルの作成を終え、年度替わりには新年度の事務局の体制も判明するので、その時点で新年度のスケジュールを審議するのが適当だと思う。

この委員会は、シンポジウムや市民説明会、職員研修など企画段階から事務局と協働で進めているので、今後も積極的な参加を期待する。マニュアルなども素案づくりから委員と事務局が協働して行っているので、今後も同じように進めていきたい。

6 その他

日程調整については、この会議で決定された部会、全体会の開催予定を踏まえ、12月から3月までの日程調整を行うため、後日事務局から各委員に照会文書を送ることとなった。

7 閉会